

## 9 - 1 九州地方とその周辺の地震活動 (2001 年 5 月 ~ 2001 年 10 月) Recent Seismic Activity in and around Kyushu District (May, 2001-October, 2001)

福岡管区気象台  
Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

2001 年 5 月 ~ 2001 年 7 月, 2001 年 8 月 ~ 10 月の各 3 ヶ月間の震央分布図を第 1 図 (a) と (b) に示す。図の領域内で M4.0 以上の地震は計 49 回発生した。福岡管区気象台が担当する九州地方及び山口県における最大の地震は, 2001 年 7 月 10 日と 10 月 31 日に発生した奄美大島近海の地震でいずれも M5.2 であった。

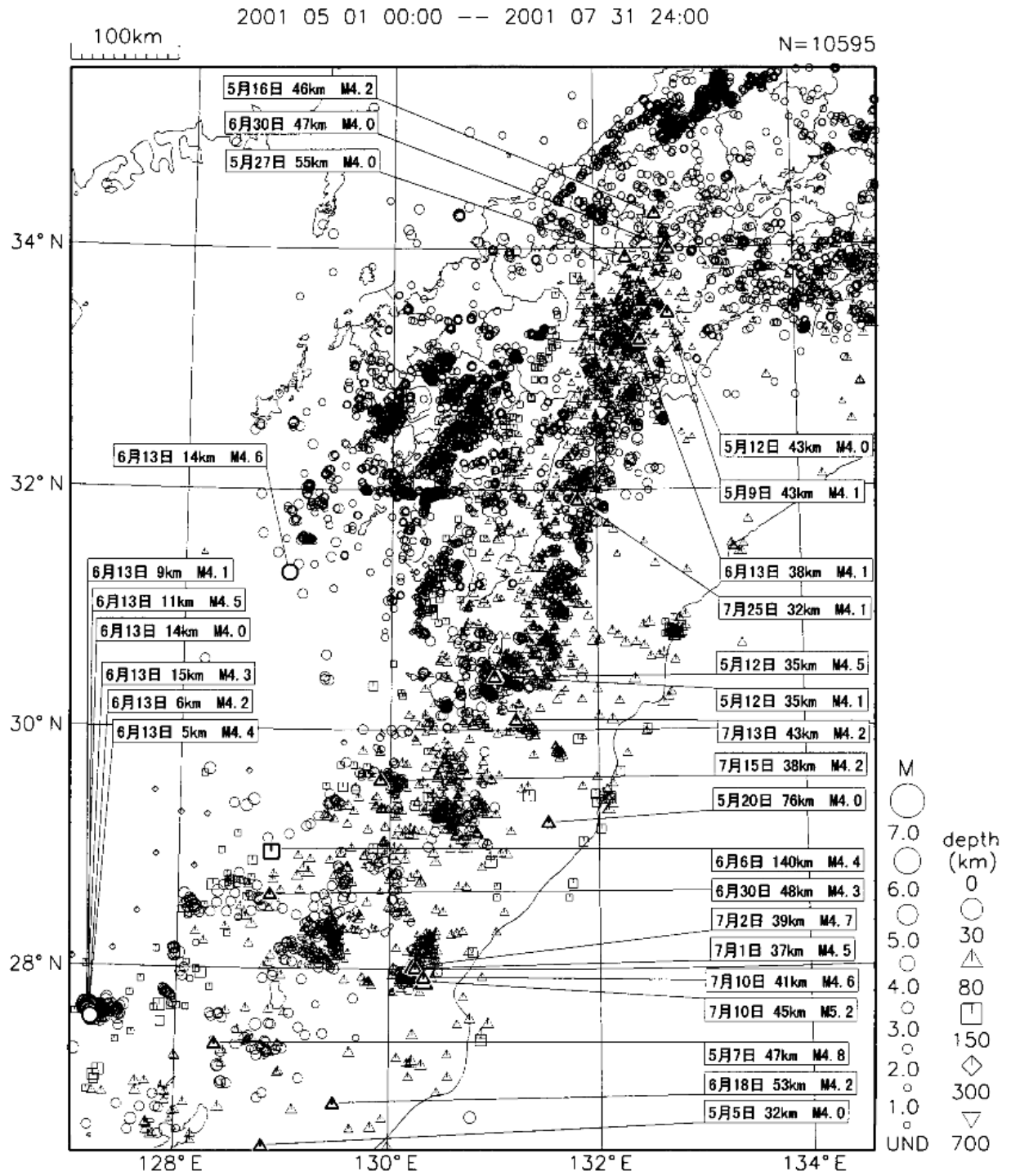
期間中の主な地震活動は, 以下のとおりである。

2001 年 5 月 7 日から 9 日にかけて大分県西部で地震が多発し, 5 日から 10 日の間に 9 回の有感地震 (いずれも震度 1) を含む約 280 回の地震を観測した。最大は 7 日 17 時 16 分の地震 (M3.2, 深さ 9 km) 及び 7 日 23 時 14 分の地震 (M3.2, 深さ 8 km) で, 17 時 16 分の地震では熊本県で震度 1 を, 23 時 14 分の地震では大分県と熊本県で震度 1 を観測した。

また, この活動域の西側で, 2001 年 10 月 22 日を中心に小規模な地震活動があり, 期間中 2 回の有感地震を含む計 51 回の地震を観測した。最大は 22 日 02 時 58 分の地震 (M3.4, 深さ 8 km) で, この地震により熊本県, 大分県, 福岡県で震度 1 ~ 2 を観測した。この領域の地震活動は数日間に規模の小さな地震が多発する傾向があり, 一元化業務の始まった 1997 年 10 月以降では, 2000 年 8 月 27 日 ~ 28 日に, M 2 ~ 3 程度を最大とする活動が発生している。

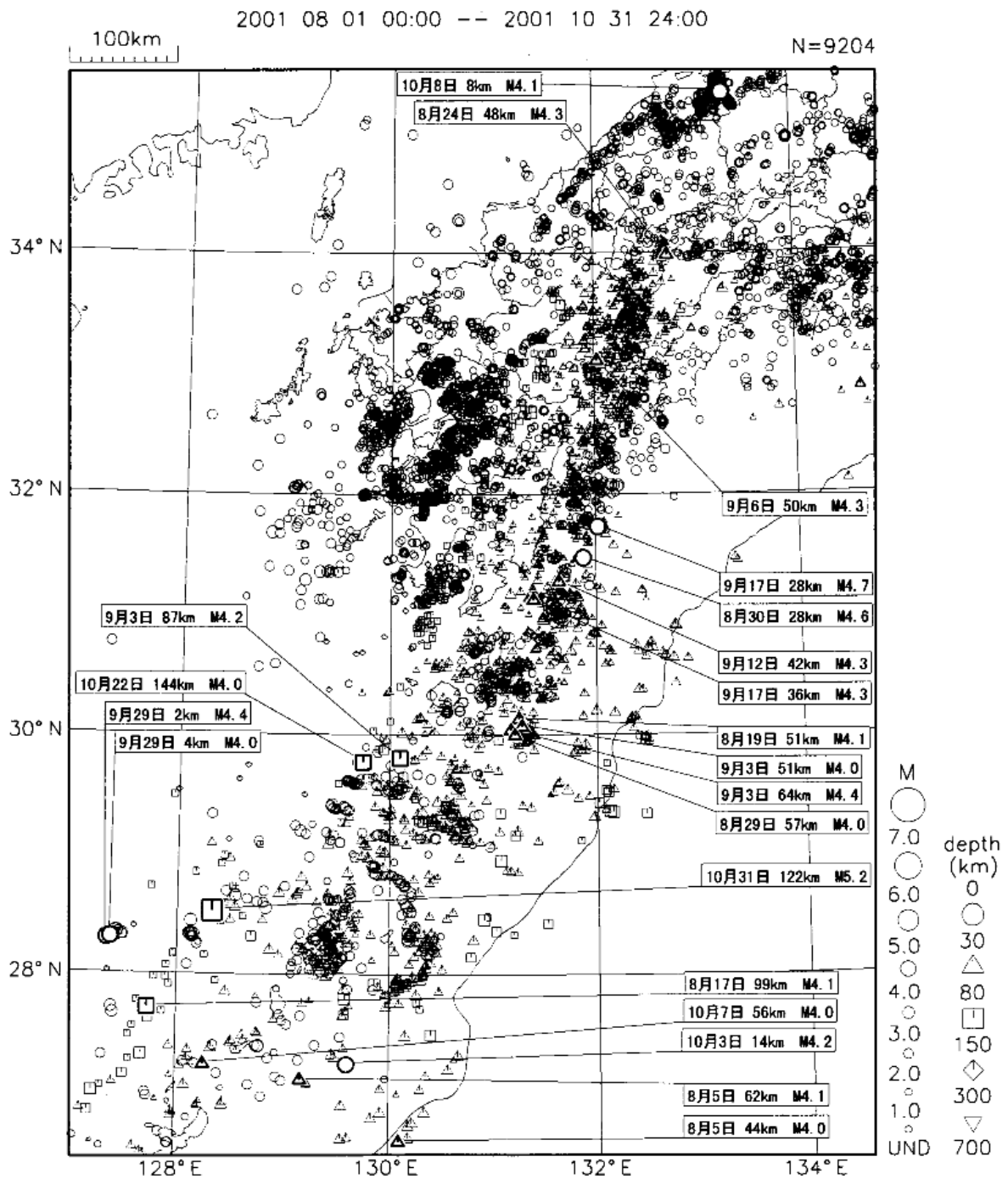
2001 年 7 月上旬から中旬にかけて奄美大島の東南東 100 km 付近で地震活動がやや活発となり, 5 回の有感地震を観測した。最大は 10 日 20 時 26 分の地震 (M5.2, 深さ 45 km) で, 名瀬市と喜界町で最大震度 2 を観測した。この付近では, 1995 年 10 月 18 日に M6.6, 10 月 19 日に M6.5 のともに津波を伴う地震が発生している (いずれも喜界町で最大震度 5)。今回の地震活動はこの 1995 年 10 月の地震 (M6.6, M6.5) の余震域で発生している。

2001 年 10 月 31 日 06 時 04 分に発生した奄美大島近海の地震 (M5.2, 深さ 122 km) により鹿児島県名瀬市で震度 3 を観測したのをはじめ, 奄美諸島から沖縄にかけて有感となった。この地震は, 沈み込んだフィリピン海プレートの内部で発生したもので, 発震機構は東西に張力軸をもつ正断層型である。この付近で M 5 クラスの地震がもれなく検知できるようになったと考えられる 1970 年代後半以降では, 奄美大島から沖縄本島の西方領域での M 5 以上のやや深発地震は, 今回と同程度の深さ (100 ~ 140 km) に比較的集中して観測されている。最大は 1982 年 4 月 9 日に沖縄本島近海で発生した M6.0 の地震 (鹿児島県名瀬市, 沖縄県那覇市ほかで震度 2 を観測) で, M6.0 を超える地震は観測されていない。なお, 今回の地震の付近では 1980 年 1 月 4 日に M5.7 の地震が発生しており, 名瀬市で最大震度 3 を観測している。



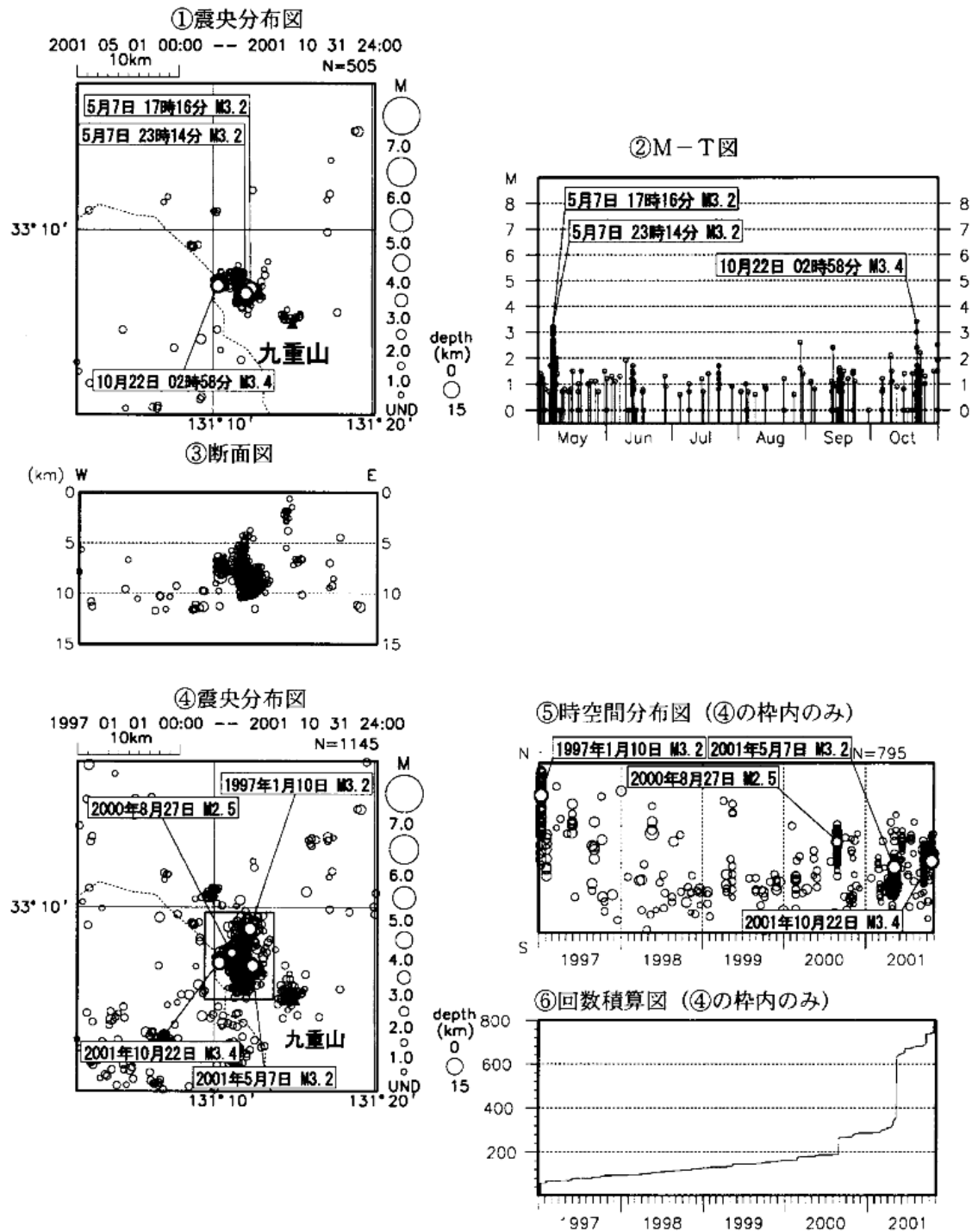
第1図(a) 九州地方とその周辺の震央分布図 (2001年5月~2001年7月)

Fig. 1 (a) Epicentral distribution in and around Kyushu District (May, 2001-July, 2001)



第1図(b) 九州地方とその周辺の震央分布図 (2001年8月~2001年10月)

Fig. 1 (b) Epicentral distribution in and around Kyushu District ( August, 2001-October , 2001 )

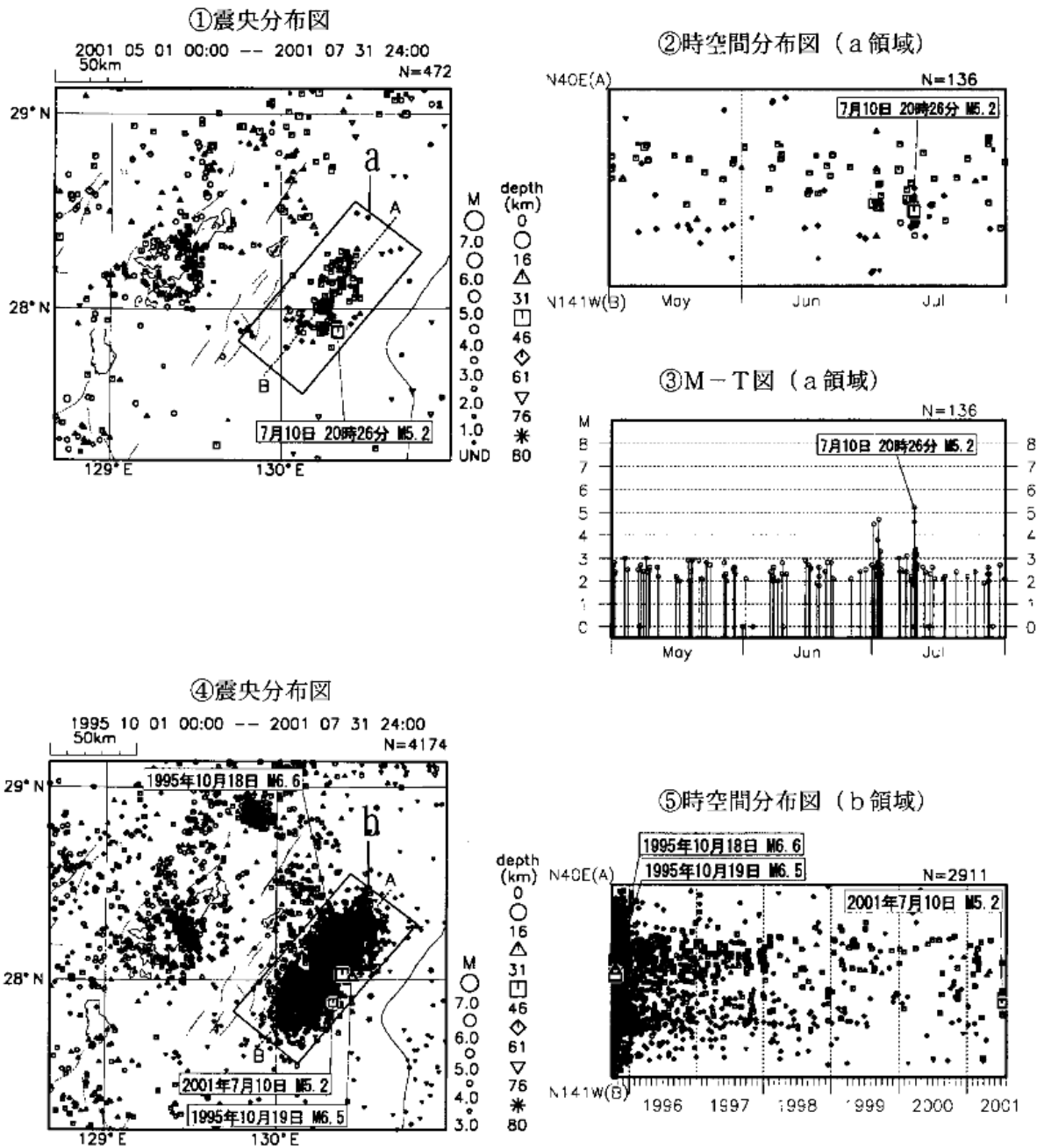


第 2 図 大分県西部(九重山付近)の地震活動

震央分布図 (2001年5月~2001年10月) M-T図 断面図  
震央分布図 (1997年1月~2001年10月) 時空間分布図 ( の枠内のみ)  
回数積算図 ( の枠内のみ)

Fig.2 Seismic activity near western Oita (near Mt.Kujyuu)

Epicentral distribution ( from May, 2001 to October , 2001 )  
M-T diagram Vertical section  
Epicentral distribution ( from January , 1997 to October, 2001 )  
Space-time plots ( for in the rectangular area of )  
Cumulative number of earthquakes (for in the rectangular area of )



第3図 奄美大島近海の地震活動

震央分布図 (2001年5月～2001年7月) 時空間分布図 (a領域)

M - T図 (a領域) 震央分布図 (1995年10月～2001年5月; M 3.0)

時空間分布図 (b領域)

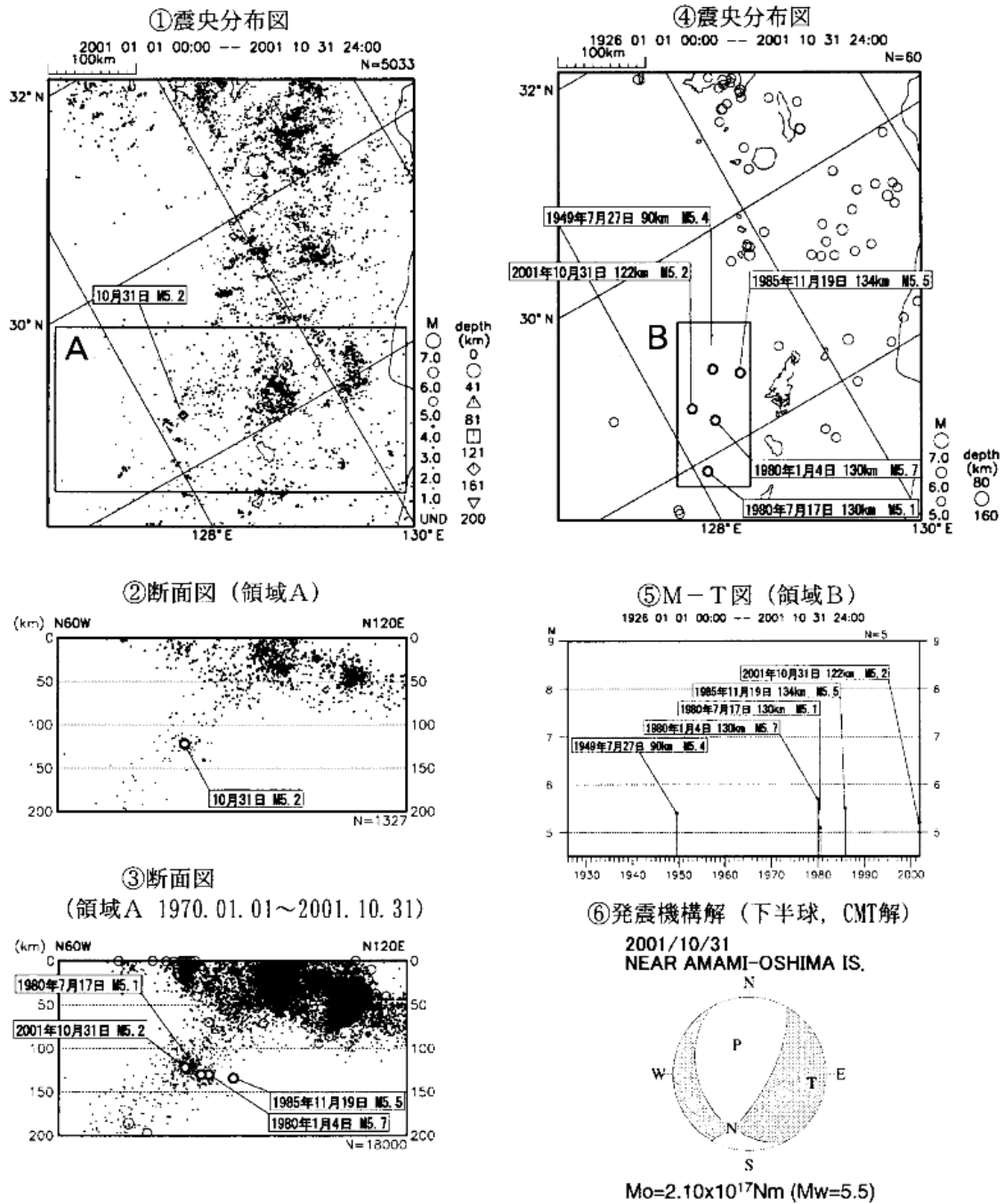
Fig.3 Seismic activity near Amami-oshima Island.

Epicentral distribution (from May, 2001 to July, 2001)

Space-time plots (in region a) M-T diagram (in region a)

Epicentral distribution (from October, 1995 to May, 2001; M 3.0)

Space-time plots (in region b)



第4図 奄美大島近海の地震活動

震央分布図 (2001年1月~2001年10月) 断面図 (領域A)  
断面図 (領域A 1970年1月~2001年10月)  
震央分布図 (1926年1月~2001年10月) M-T図 (領域B)  
発震機構解 (下半球, CMT解)

Fig.4 Seismic activity near Amami-oshima Island.

Epicentral distribution (from January, 2001 to October, 2001)  
Vertical section (in region A)  
Vertical section (in region A from January, 1970 to October, 2001)  
Epicentral distribution (from January, 1926 to October, 2001)  
M-T diagram (in region B)  
Focal mechanism solution (lower hemisphere, CMT analysis)